

## ●組立手順

- ①棚支柱GAに棚支柱取付金具Nをボルトで取り付け、梁・桁の端にボルトとネジ板Cで取り付けます(図A)。
- ②下部は棚支柱取付下金具Nをテクスネジで固定します(図B)。  
※Jタイプは棚支柱取付下金具Nはありません。直接テクスネジで固定します。
- ③棚支柱ECを棚支柱GAの角穴に差し、棚支柱GBを棚支柱ECにボルトで取り付けます。
- ④棚支柱Sベースを土間コンクリートの高さに合わせてテクスネジで固定します。(土台下面50mm~200mmまで調整可能)
- ⑤棚板配置例を参考にして次の棚支柱を取り付け、棚フックで棚板を引掛けます。

## ■梱包明細表

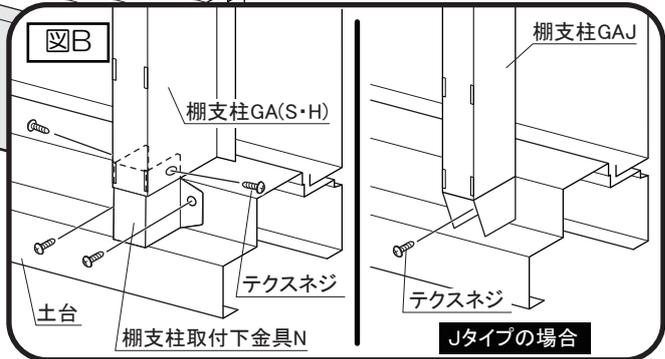
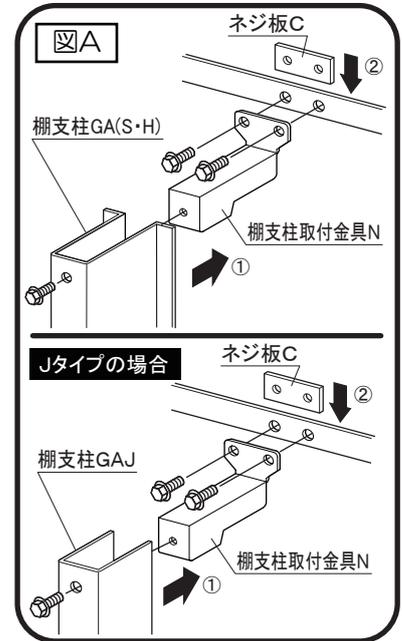
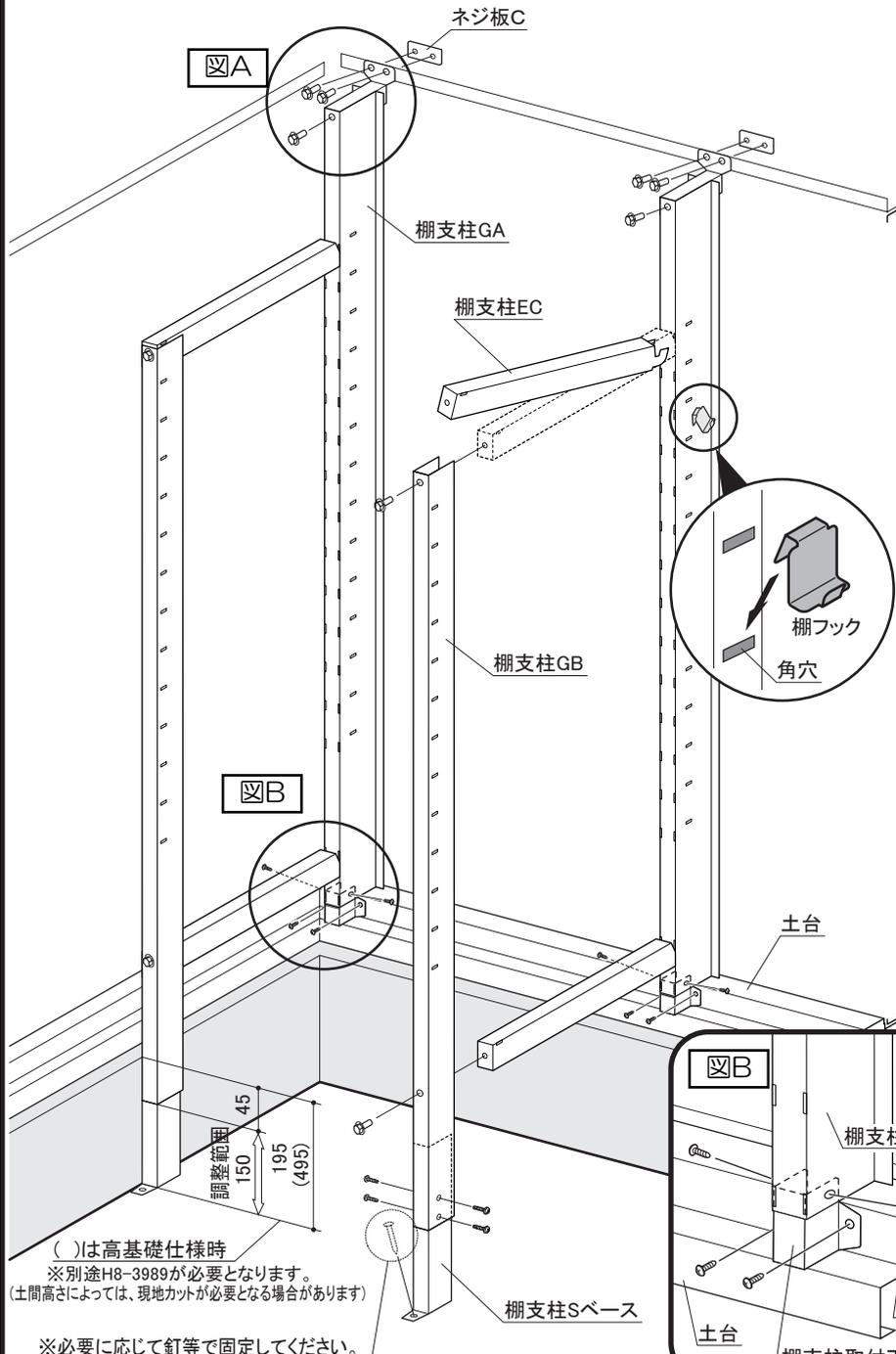
Sタイプ B9-7001  
Hタイプ B9-7003

部 品 名	数
●棚支柱GA(S・H)	1
棚 支 柱 E C	2
棚 支 柱 GB(S・H)	1
棚支柱取付金具N	1
棚支柱取付下金具N	1
棚 支 柱 S ベース	1
M 6 ボルト	5
テクスネジ	8
ネジ板 C	1
組立説明書	1

Jタイプ B9-7005

部 品 名	数
●棚支柱GA(J)	1
棚 支 柱 E C	2
棚 支 柱 GB(J)	1
棚支柱取付金具N	1
棚 支 柱 S ベース	1
M 6 ボルト	5
テクスネジ	5
ネジ板 C	1
組立説明書	1

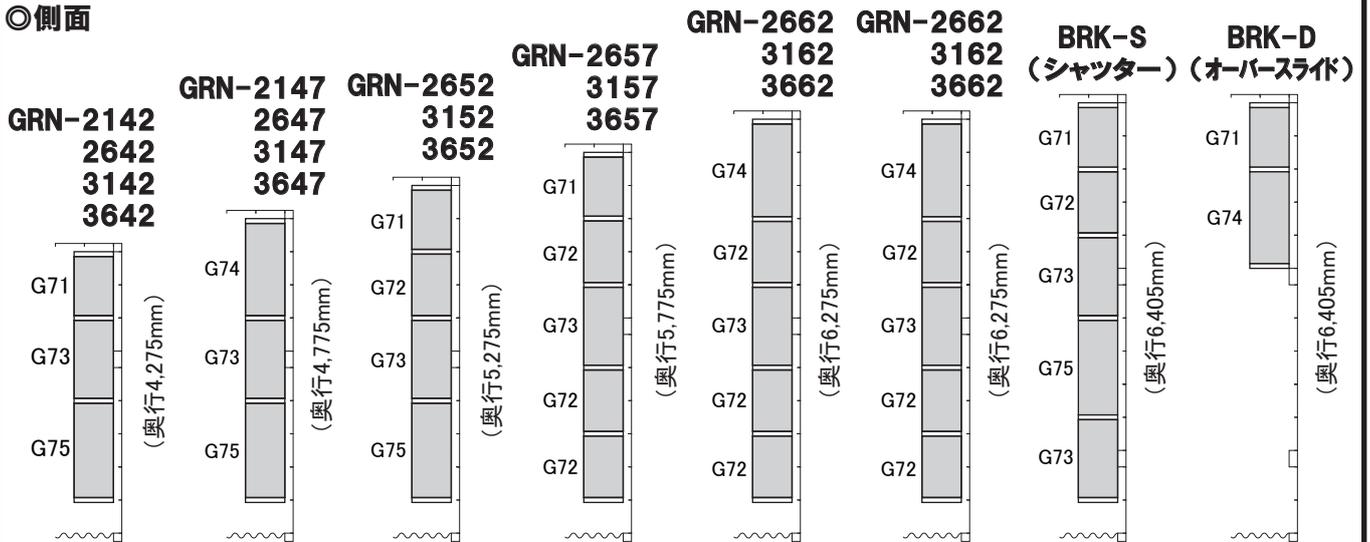
(注) 部品名の頭に●が付いている部品には製造番号が打ってあります。組立のとき、万が一不具合が起きた場合は、必ずその製造番号を確認の上ご連絡ください。



( )は高基礎仕様時  
※別途H8-3989が必要となります。  
(土間高さによっては、現地カットが必要となる場合があります)  
※必要に応じて釘等で固定してください。

# ●棚板配置例

## ◎側面



## ◎後面～独立型～

GRN-2142, 2147 (間口2,130mm)		GRN-2642, 2647, 2652, 2657, 2662 (間口2,630mm)	
全面配置の時	L型配置の時	全面配置の時	L型配置の時
GRN-3142, 3147, 3152, 3157, 3162 (間口3,130mm)		GRN-3642, 3647, 3652, 3657, 3662 (間口3,630mm)	
全面配置の時	L型配置の時	全面配置の時	L型配置の時

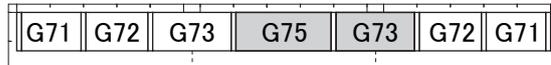
## ◎後面～連続型～

※下図は3連続タイプの棚板配置例です。  
 ※BRK-S (BRK-D) の場合は下記の間口2630mmの連続型、2連続の場合を参照してください。  
 (注1) 2連続タイプの場合は、部の棚板がない配置になります。  
 (注2) 3連続以上のタイプは、部の棚板・棚支柱を繰り返し取り付けてください。

GRN-2142, 2147  
 (間口2,130mmの連続型)



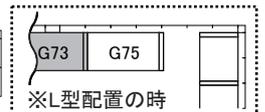
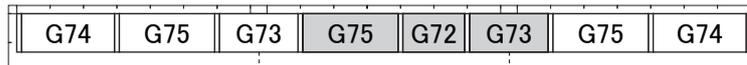
GRN-2642, 2647, 2652, 2657, 2662  
 (間口2,630mmの連続型)



GRN-3142, 3147, 3152, 3157, 3162  
 (間口3,130mmの連続型)



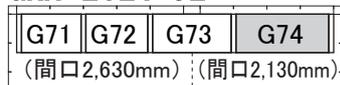
GRN-3642, 3647, 3652, 3657, 3662  
 (間口3,630mmの連続型)



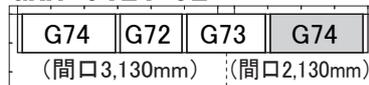
## ◎後面～組合せタイプ～(間口組合せが逆の場合、棚板配置も逆になります)

※L型配置にする場合は、部の棚板をはずして側面の棚板を取り付けてください。

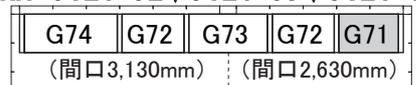
GRN-2621・52



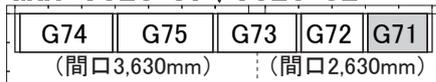
GRN-3121・52



GRN-3126・52, 3126・57, 3126・62



GRN-3626・57, 3626・62



GRN-3631・57, 3631・62

